

| | | | |
|--------|--|----|----|
| 授業科目 | 治療総論 | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 前期 | 時間 | 15 |
| 科目設定理由 | 医学は日々進歩し患者が安心して検査や治療を受けるには看護師も十分な知識を持つ必要がある。また、放射線医学の分野は福島県に居住するものとして密接な関りがある。本科目は疾病と治療を学ぶ前に共通する診断や治療を概説し、疾病と治療を学ぶ助けとなるよう設定した。 | | |
| 目的 | 治療を受ける人を理解するための治療や検査の基礎的知識を学ぶ | | |
| 目標 | 1.治療とは何かを理解する 2.正確な臨床検査結果を得るための基礎を理解する 3.正確な画像診断結果を得るための基礎を理解する 4.放射線の原理を理解する 5.がん医療における化学療法の流れを理解する 6.安全に確実な検査と治療を受けるための看護師の役割を考える | | |
| 評価方法 | 筆記試験（治療概論：14点 臨床検査：28点 放射線医学：30点 がん医療：28点） | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座別巻>臨床検査：医学書院（2、3回目） <系統看護学講座別巻>臨床放射線医学：医学書院（4、5回目） <系統看護学講座別巻>がん看護学：医学書院（6、7回目） 必要に応じて資料配布 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|---|-------|------------------------|---|------|----|
| 1 | 治療概論 | 治療とは何かを理解する | 1.治療の観点 2.治療の分類 3.治療の選択 | 講義 | |
| 2 | 臨床検査 | 正確な臨床検査結果を得るための基礎知識を学ぶ | 1.臨床検査とその役割 2.臨床検査の流れ 3.主な検体検査① 一般検査、血液学的検査、化学検査、免疫・血清学的検査、内分泌学的検査 | 講義 | |
| 3 | | 正確な臨床検査結果を得るための基礎知識を学ぶ | 1.主な検体検査② 微生物学的検査、病理学的検査 2.生体検査 生理機能検査、画像検査、内視鏡検査 | 講義 | |
| 4 | 放射線医学 | 正確な画像診断結果を得るための基礎知識を学ぶ | 1.画像診断 X線診断、CT、MRI、超音波検査、核医学検査、IVR・血管造影 2.放射線による障害と防御 | 講義 | |
| 5 | | 放射線の原理を理解する | 1.放射線治療の原理 2.正常組織の有害反応 3.放射線治療の特徴と目的 4.照射法の種類 5.臓器別放射線治療 | 講義 | |
| 6 | がん医療 | がん医療の全体像を理解する | 1.がんの病態と臨床経過 2.がんの治療 3.がん患者の療養支援 | 講義 | |
| 7 | | 化学療法の実際 | 1.化学療法の流れ 2.薬物の種類 3.化学療法の実際 | 講義 | |
| 8 | テスト | | | | |

| | | | |
|--------|---|----|----|
| 授業科目 | 疾病と治療Ⅰ（脳・神経、運動器、リハビリテーション） | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 前期 | 時間 | 30 |
| 科目設定理由 | 看護に必要な観察力・判断力を養うには、健康・疾病・障害に関する病態と診断や治療の理解が不可欠である。本科目では脳・神経と運動器疾患の理解を深め、疾患や障害をもつてもその人らしい生活を送れるための支援につなげる。 | | |
| 目的 | 脳・神経疾患と運動器疾患の病態や診断治療と障害について学び、観察力や判断力を養う | | |
| 目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 脳・神経疾患の病態と治療を理解する 2. 運動器疾患の病態と治療を理解する 3. リハビリテーションの概念を理解する 4. その人らしい生活を送るための支援について考える | | |
| 評価方法 | 筆記試験（脳神経：40点 運動器：40点 リハビリテーション：20点） | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座専門分野>脳・神経：医学書院 <系統看護学講座専門分野>運動器：医学書院 <系統看護学講座別巻>リハビリテーション看護：医学書院 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|----|--------------|----------------------------------|--|-------|----|
| 1 | 脳・神経疾患の診断と治療 | 脳・神経障害について学ぶ | 症状とその病態 意識障害、高次機能障害、運動機能障害、感覚機能障害、自律性のある機能の障害、頭蓋内圧亢進、脳ヘルニア | 講義 | |
| 2 | | 代表的検査、治療・処置を学ぶ | 検査（神経学的診察、画像診断、電気生理学的検査、脳脊髄検査・生検）、治療・処置（外科的治療、内科的治療） | 講義 | |
| 3 | | 代表的な疾患の病態と治療を学ぶ | 脳疾患（脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷）脊髄疾患、末梢神経障害 | 講義 | |
| 4 | | 代表的な疾患の病態と治療を学ぶ | 筋疾患・神経筋接合部疾患、脱髄・変性疾患、感染症、中毒、てんかん | 講義 | |
| 5 | | 認知症の病態と治療を学ぶ | 認知症の病態と治療 | 講義 | |
| 6 | 運動器疾患の診断と治療 | 運動器疾患の症状と病態を学ぶ | 疼痛、形態の異常、関節運動の異常、神経の障害、歩行異常、筋肉の障害 | 講義 | |
| 7 | | 運動器疾患の診断・検査と治療・処置を学ぶ 症状と病態を学ぶ | 診察・診断（問診・指針・触診・神経診察） 検査（画像検査、電気生理学的検査、関節鏡） 治療処置（保存療法、理学・作業療法、手術療法、義肢と装具）薬物療法（ステロイド、ワーファリン） | 講義 | |
| 8 | | 外傷性疾患の病態と治療を学ぶ | 骨折、脱臼、捻挫・打撲、神経損等（外傷、ショック、ヘルニア）筋・腱・靭帯損傷 | 講義 | |
| 9 | | 非外傷性疾患の病態と治療を学ぶ | 先天性疾患（発育性股関節軽視不全）骨関節の炎症性疾患、骨腫瘍・軟部腫瘍、代謝性骨疾患（リウマチ、痛風） | 講義 | |
| 10 | | 非外傷性疾患の病態と治療を学ぶ | 腱の疾患、神経・筋疾患（神経麻痺）、上肢・上肢帯の疾患、脊椎疾患（頸髄損傷）、下肢・下肢帯の疾患、ロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニア、廃用症候群（骨粗鬆症） | 講義 | |
| 11 | リハビリテーション | リハビリテーションの概念について学ぶ | リハビリテーション総論 | 講義 | |
| 12 | | 基本的動作能力の回復について学ぶ | 基本動作能力の回復の概念と実際 | 講義・演習 | |
| 13 | | 応用動作能力や社会適応能力の回復について学ぶ | 応用的動作能力や社会的適応能力の回復の概念と実際 | 講義・演習 | |
| 14 | | 音声・言語・聴覚障害の機能回復について学ぶ | 音声・言語・聴覚障害の機能回復の概念と実際 | 講義・演習 | |
| 15 | テスト | | | | |

| | | | |
|--------|---|----|----|
| 授業科目 | 疾病と治療Ⅱ（呼吸器、循環器） | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 前期 | 時間 | 30 |
| 科目設定理由 | 看護に必要な観察力・判断力を養うには、健康・疾病・障害に関する病態と診断や治療の理解が不可欠である。本科目では呼吸器・循環器疾患の理解を深め、疾患や障害をもってその人らしい生活を送れるための支援につなげる。 | | |
| 目的 | 呼吸器・循環器疾患の病態や診断治療と障害について学び、観察力や判断力を養う | | |
| 目標 | 1. 呼吸器疾患の病態と治療を理解する 2. 循環器疾患の病態と治療を理解する 3. その人らしい生活を送るための支援について考える | | |
| 評価方法 | 筆記試験（呼吸器：43点 循環器：43点 呼吸・心臓リハビリテーション：14点） | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座専門分野>呼吸器：医学書院 <系統看護学講座専門分野>循環器：医学書院 <系統看護学講座別巻>リハビリテーション看護：医学書院 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|----|-------------|----------------------------------|--|------|----|
| 1 | 呼吸器疾患の病態と治療 | 呼吸器の構造・機能と主な症状・症候を学ぶ | 呼吸器と構造と機能 主な症状と徴候 | 講義 | |
| 2 | | 呼吸器の代表的な検査を学ぶ | 呼吸器の代表的な検査 打診・聴診・胸部の画像検査、呼吸機能検査、動脈血液ガス分析 | 講義 | |
| 3 | | | 呼吸器の代表的な検査 内視鏡検査、組織検査、胸腔穿刺 | 講義 | |
| 4 | | 呼吸器の代表的な疾患と治療を学ぶ | 疾患1 気管支喘息と吸入療法、呼吸不全の病態、酸素吸入療法、人工呼吸療法、気管挿管と気管切開、呼吸器疾患の薬物療法、呼吸器感染症、肺真菌症、肺結核と非結核性抗酸菌症 | 講義 | |
| 5 | | 呼吸器の代表的な疾患と治療を学ぶ | 疾患2 COPD 間質性肺疾患、肺水腫とARDS、肺・血管の形成異常、気胸と胸膜疾患、縦隔疾患 | 講義 | |
| 6 | | 呼吸器疾患の外科的治療の特徴と肺切除術後管理と合併症について学ぶ | 呼吸器疾患の外科的治療 肺癌と肺転移性腫瘍、悪性中皮腫、肺切除術の術前評価と術後管理と合併症、肺移植 | 講義 | |
| 7 | | 呼吸リハビリテーションを体感を通じて学ぶ | 呼吸リハビリテーション 体位ドレナージ・スクイーミング | 演習 | |
| 8 | 循環器疾患の病態と治療 | 循環器の解剖生理、高血圧について学ぶ | 循環器の構造と機能 症状と病態生理 高血圧について | 講義 | |
| 9 | | 心電図、不整脈について学ぶ | 心電図について 不整脈とその治療 徐脈性不整脈、頻脈性不整脈 | 講義 | |
| 10 | | 虚血性心疾患について学ぶ | 虚血性心疾患について 労作性狭心症、不安定狭心症 心筋梗塞 虚血性心疾患の治療 | 講義 | |
| 11 | | 心不全について学ぶ | 心不全 心不全の病態とその分類、診断、治療 | 講義 | |
| 12 | | 後天性心疾患、動脈疾患について学ぶ | 後天性心疾患、動脈疾患について 弁膜症、心膜炎、心筋炎 大動脈瘤、大動脈解離 | 講義 | |
| 13 | | 心臓血管外科的治療について学ぶ | 心臓血管外科治療 | 講義 | |
| 14 | | 心臓リハビリテーションを体感を通じて学ぶ | 系統別リハビリテーションの実際 心臓リハビリテーション 体位ドレナージ・スクイーミング | 演習 | |
| 15 | テスト | | | | |

| | | | |
|--------|--|----|----|
| 授業科目 | 疾病と治療Ⅲ（消化器、歯・口腔、耳鼻咽喉、眼） | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 前期 | 時間 | 30 |
| 科目設定理由 | 看護に必要な観察力・判断力を養うには、健康・疾病・障害に関する病態と診断や治療の理解が不可欠である。本科目では消化器・歯・口腔・耳鼻咽喉・眼疾患の理解を深め、疾患や障害をもってその人らしい生活を送れるための支援につなげる。 | | |
| 目的 | 消化器・歯・口腔・耳鼻咽喉・眼疾患の病態や診断治療と障害について学び、観察力や判断力を養う | | |
| 目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 消化器疾患の病態と治療を理解する 2. 歯・口腔疾患の病態と治療を理解する 3. 耳鼻咽喉疾患の病態と治療を理解する 4. 眼疾患の病態と治療を理解する 5. その人らしい生活を送るための支援について考える | | |
| 評価方法 | 筆記試験（消化器：70点 耳鼻咽喉：14点 歯・口腔：8点 眼：8点） | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座専門分野>消化器：医学書院 <系統看護学講座専門分野>歯・口腔：医学書院 <系統看護学講座専門分野>耳鼻咽喉：医学書院 <系統看護学講座専門分野>眼：医学書院 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|---|-------------|-------------------------|---|------|----|
| 1 | 消化器疾患の病態と治療 | 消化器の解剖生理について学ぶ | 消化器総論（解剖・生理） 1)消化器について（消化管と消化器官） 2)症状（嘔気・嘔吐、腹痛(急性腹症)、吐血・下血、下痢、便秘、腹部膨満、縦走潰瘍、嚥下障害、胸やけ、げっぷ） 3)消化器疾患の診かた（問診・視診・触診・聴診・打診） 4)消化器検査（内視鏡、MDL、DDL） | 講義 | |
| 2 | | 代表的な胃・十二指腸の消化器疾患について学ぶ | 消化器疾患各論（消化管） 1)胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎、機能的胃炎、GERD、GIST、クローン病、潰瘍性大腸炎 2)胃がんの検査・診断・治療 （主に内視鏡治療：EVL、EIS、EMR、ESD） | 講義 | |
| 3 | | 代表的な食道、胃、小腸、大腸の疾患について学ぶ | 消化器疾患各論（消化管） 1)食道癌、食道アカラシア、食道裂孔ヘルニア、イレウス、胃がん、大腸がん、虫垂炎の症状、検査・診断・治療 （主に外科的治療） | 講義 | |
| 4 | | 代表的な食道、胃、小腸、大腸の疾患について学ぶ | 消化器疾患各論（消化管） 2)食道癌、食道アカラシア、食道裂孔ヘルニア、イレウス、胃がん、大腸がん、虫垂炎の症状、検査・診断・治療 （主に外科的治療） | 講義 | |
| 5 | | 肝・胆・膵の主な消化器内科疾患について学ぶ | 消化器疾患各論（肝・胆・膵） 1)肝臓全般 （良性、悪性、肝硬変、トピックス・C型肝炎など） 2)膵炎、膵臓癌、胆石症の症状、検査・診断・治療 （主に内科的治療） | 講義 | |
| 6 | | 肝・胆・膵の主な消化器内科疾患について学ぶ | 消化器疾患各論（肝・胆・膵） 1)肝臓全般 （良性、悪性、肝硬変、トピックス・C型肝炎など） 2)膵炎、膵臓癌、胆石症の症状、検査・診断・治療 （主に内科的治療） | 講義 | |
| 7 | | 肝・胆・膵の主な消化器外科疾患について学ぶ | 消化器疾患各論（肝・胆・膵） 1)胆石症、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌、肝癌、膵癌、胆道癌の検査・診断・治療（主に外科的治療） | 講義 | |
| 8 | | 肝・胆・膵の主な消化器外科疾患について学ぶ | 消化器疾患各論（肝・胆・膵） 2)胆石症、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌、肝癌、膵癌、胆道癌の検査・診断・治療（主に外科的治療） | 講義 | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|----|--------------|-----------------------------|---|------|----|
| 9 | | がんの進展様式、治療法、栄養法、ドレナージについて学ぶ | がんの進展様式、治療法、栄養法、ドレナージについて | 講義 | |
| 10 | | 腹部外傷について学ぶ | 腹部外傷の種類・症状・治療 | 講義 | |
| 11 | 歯・口腔疾患の病態と治療 | 歯・口腔疾患の病態と治療を学ぶ | 歯や口腔の異常と疾患、顎・咀嚼筋の異常と疾患 麻酔や抗がん剤が歯に及ぼす影響 | 講義 | |
| 12 | 耳鼻咽喉疾患の病態と治療 | 耳鼻の症状と病態生理を学ぶ | 症状と病態生理、耳疾患 | 講義 | |
| 13 | | 咽喉疾患の病態と治療を学ぶ | 鼻疾患、口腔・咽頭疾患、気道・食道・頸部疾患 音声・言語障害 | 講義 | |
| 14 | 眼疾患の病態と治療 | 眼疾患の病態と治療を学ぶ | 症状と病態生理、検査と治療処置、 疾患の理解：白内障、緑内障、網膜剥離 | 講義 | |
| 15 | テスト | | | | |

| | | | |
|--------|--|----|----|
| 授業科目 | 疾病と治療Ⅳ（血液・造血器、感染症、アレルギー・膠原病、皮膚、乳房・女性生殖器、形成外科） | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 後期 | 時間 | 30 |
| 科目設定理由 | 看護に必要な観察力・判断力を養うには、健康・疾病・障害に関する病態と診断や治療の理解が不可欠である。本科目では血液・造血器疾患、感染症、アレルギー・膠原病、皮膚疾患、乳房・女性生殖器の病態と治療、形成外科的治療の理解を深め、疾患や障害をもってもその人らしい生活を送れるための支援につなげる。 | | |
| 目的 | 血液・造血器疾患、感染症、アレルギー・膠原病、皮膚疾患、乳房・女性生殖器の病態と治療、形成外科的治療と障害について学び、観察力や判断力を養う | | |
| 目標 | <ol style="list-style-type: none"> 血液・造血器疾患の病態と治療を理解する 感染症の病態と治療を理解する アレルギー・膠原病の病態と治療を理解する 皮膚疾患の病態と治療を理解する 乳房・女性生殖器の病態と治療を理解する 形成外科的治療を理解する その人らしい生活を送るための支援について考える | | |
| 評価方法 | 筆記試験（血液・造血器：30点 形成外科：7点 感染症：14点 アレルギー・免疫：14点 皮膚：14点 女性生殖器：14点 乳房疾患：7点） | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座専門分野>血液・造血器：医学書院 <系統看護学講座専門分野>アレルギー・膠原病・感染症：医学書院 <系統看護学講座専門分野>皮膚：医学書院 <系統看護学講座専門分野>女性生殖器：医学書院 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|----|-----------------|----------------------|---|------|----|
| 1 | 血液の生理と造血のしくみ | 血液の生理と造血のしくみについて学ぶ | 血液の成分と機能 造血のしくみ | 講義 | |
| 2 | 血液・造血器疾患と治療 | 症候と病態生理について学ぶ | 血液疾患で診られる主な症候 貧血、発熱、出血傾向、リンパ節腫脹・脾腫 末梢血検査、骨髓穿刺、骨髓生検 | 講義 | |
| 3 | | 赤血球系の異常と治療について学ぶ | 赤血球系の異常 鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血 再生不良性貧血、溶血性貧血 | 講義 | |
| 4 | | 造血器疾患と治療について学ぶ | 造血器腫瘍 造血幹細胞移植 急性白血病 骨髓異形成症候群 出血性疾患 凝固異常 化学療法、輸血療法、血漿交換 | 講義 | |
| 5 | 感染症の病態と治療 | 感染症の成立と診断治療を学ぶ | 感染症とは、検査・診断、治療 | 講義 | |
| 6 | | 疾患別の病態と治療を学ぶ | 疾患の理解 ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症 新興・再興感染症 | 講義 | |
| 7 | アレルギー・膠原病の病態と治療 | アレルギー疾患の病態と治療を学ぶ | 免疫系の働き アレルギー疾患の病態と治療 | 講義 | |
| 8 | | 膠原病の病態と治療を学ぶ | 自己免疫疾患の病態生理、検査と治療 | 講義 | |
| 9 | 皮膚疾患の病態と治療 | 皮膚疾患の病態と治療を学ぶ | 症状とその病態生理、検査と治療処置 掻痒感、発赤・腫脹・水疱、壊死・炭化、呼吸困難、 低容量性ショック 放射線療法、抗ヒスタミン剤、抗ウイルス剤 | 講義 | |
| 10 | | 皮膚病変や皮膚障害の病態と治療を理解する | 疾患の理解：アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、悪性黒色腫、 帯状疱疹、中毒疹、湿疹 | 講義 | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|----|---------------|-----------------------|---|------|----|
| 11 | 形成外科的治療を学ぶ | 形成外科的治療の対象となる疾患と治療を学ぶ | 皮膚潰瘍と褥瘡 創傷管理、創傷治癒 熱傷（病態、重症度の判定、熱傷深度） 皮膚の主な悪性腫瘍 壊死性筋膜炎、ガス壊疽、壊疽性膿皮症、糖尿病性潰瘍 ケロイド、血管腫、白癬、鶏眼・胼胝と尋常性疣贅 | 講義 | |
| 12 | 乳房疾患の病態と治療 | 乳房疾患の病態と治療を学ぶ | 良性乳房疾患(乳腺症、繊維腺腫、葉状腫瘍、乳管内乳頭腫、女性化乳房) 乳がん(疫学、検査、診断、治療) | 講義 | |
| 13 | 女性生殖器疾患の病態と治療 | 子宮・卵巣疾患の病態と治療を学ぶ | 子宮疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、子宮体癌、子宮頸癌） 卵巣疾患（卵巣脳腫、卵巣癌） | 講義 | |
| 14 | 産科疾患の病態と治療 | 産科疾患の病態と治療を学ぶ | 産科疾患（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、切迫早産、常位胎盤早期剥離、前置胎盤）多胎妊娠 | 講義 | |
| 15 | テスト | | | | |

| | | | |
|--------|---|----|----|
| 授業科目 | 疾病と治療Ⅴ（内分泌・代謝、腎臓、泌尿器） | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 後期 | 時間 | 15 |
| 科目設定理由 | 看護に必要な観察力・判断力を養うには、健康・疾病・障害に関する病態と診断や治療の理解が不可欠である。本科目では内分泌・代謝、腎臓・泌尿器疾患の理解を深め、疾患や障害をもつてその人らしい生活が送れるための支援につなげる。 | | |
| 目的 | 内分泌・代謝、腎臓・泌尿器疾患の病態や診断治療と障害について学び、観察力や判断力を養う | | |
| 目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 内分泌・代謝疾患の病態と治療を理解する 2. 腎・泌尿器疾患の病態と治療を理解する 3. その人らしい生活を送るための支援について考える | | |
| 評価方法 | 筆記試験（代謝・糖尿病：28点 内分泌：14点 泌尿器：14点 腎：44点） | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座専門分野>内分泌・代謝：医学書院 <系統看護学講座専門分野>腎・泌尿器：医学書院 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|---|----------|-------------------------------|---|------|----|
| 1 | 代謝疾患 | 代表的な代謝疾患について理解する | 脂質異常の病態と理解 尿酸代謝異常の病態と理解 糖尿病の病態の理解 ・血糖とは ・血糖値の下がる仕組み ・高血糖 ・糖尿病の症状 ・糖尿病の成因分類と特徴 ・糖尿病の診断 糖尿病の治療 ・食事療法 ・運動療法 ・薬物療法 | 講義 | |
| 2 | | 糖尿病の治療、合併症について学ぶ | 糖尿病の合併症 ・糖尿病網膜症 ・糖尿病腎症 ・糖尿病神経障害 ・糖尿病足病変 ・大血管障害 糖尿病の急性合併症 ・糖尿病ケトアシドーシス ・高浸透圧高血糖症候群 ・低血糖 ・シックデイについて ・妊娠糖尿病 | 講義 | |
| 3 | 内分泌疾患 | 内分泌の概念と診断、治療について学ぶ | 内分泌の概念・内分泌制御・内分泌器官 内分泌疾患 | 講義 | |
| 4 | 腎臓内科学総論 | 腎臓の機能と役割、慢性腎不全の病態・症状・治療について学ぶ | 腎臓病学総論 ・腎臓の機能と役割 ・腎機能検査 ・腎生検 ・各種治療（代替療法・腎移植） ・腎不全の症状 | 講義 | |
| 5 | 急性・慢性腎臓病 | 慢性・急性腎臓病の病態について学ぶ | ・急性・慢性腎臓病の病態生理、検査 ・慢性腎不全と慢性腎臓病との違い ・I g A腎症・糖尿病性腎症・良性腎硬化症 | 講義 | |
| 6 | 腎臓疾患各論 | 代表的な腎疾患の理解と治療について学ぶ | 代表的な腎疾患の理解と治療 ・急性腎不全 ・慢性腎炎 ・腎盂腎炎 ・ネフローゼ症候群 | 講義 | |
| 7 | 泌尿器疾患 | 泌尿器の機能と役割・病態の理解・検査・治療について学ぶ | 代表的な泌尿器疾患 ・過活動膀胱 ・尿路感染症 ・精巣腫瘍 ・前立腺がん ・尿路結石 ・膀胱がん 泌尿器疾患の検査と治療 ・泌尿器の画像診断について ・尿路変更術 | 講義 | |
| 8 | テスト | | | | |

| | | | |
|--------|---|----|----|
| 授業科目 | 疾病と治療VI (新生児・小児の疾患) | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 後期 | 時間 | 15 |
| 科目設定理由 | 看護に必要な観察力・判断力を養うには、健康・疾病・障害に関する病態と診断や治療の理解が不可欠である。本科目では新生児や小児の疾患の理解を深め、疾患や障害をもってもその人らしい生活が家族と送れるための支援につなげる。 | | |
| 目的 | 新生児・小児疾患の病態や診断治療と障害について学び、観察力や判断力を養う | | |
| 目標 | 1. 小児疾患の病態と治療を理解する 2. その人らしい生活を家族と送るための支援について考える | | |
| 評価方法 | 筆記試験 | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座専門分野>小児臨床看護各論：医学書院 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|---|-----------------------|---|--|------|----|
| 1 | アレルギー疾患の子どもの病態・検査・治療 | アレルギー疾患(気管支喘息)、肺炎、細気管支炎の病態と治療を学ぶ | アレルギー疾患(気管支喘息)、肺炎、細気管支炎の病態生理と治療 | 講義 | |
| 2 | 腎・泌尿器疾患の子どもの病態・検査・治療 | 腎・泌尿器疾患(ネフローゼ症候群、糸球体腎炎)の病態と治療を学ぶ | 腎・泌尿器疾患(ネフローゼ症候群、糸球体腎炎)の病態生理と治療 | 講義 | |
| 3 | 代謝性疾患の子どもの病態・検査・治療 | 代謝性疾患(糖尿病)の病態と治療を学ぶ | 代謝性疾患(糖尿病)の病態生理と治療 | 講義 | |
| 4 | 消化器疾患の子どもの病態・検査・治療 | 消化器疾患(食道閉鎖、腸閉塞、肥厚性幽門狭窄症、鎖肛、腸重積、急性胃腸炎、胆道閉鎖症)の病態と治療を学ぶ | 消化器疾患(腸閉塞、肥厚性幽門狭窄症、腸重積、急性胃腸炎、脱水、胆道閉鎖症)の病態生理と治療 | 講義 | |
| 5 | 感染症、神経疾患の子どもの病態・検査・治療 | 感染症(麻疹、風疹、水痘、インフルエンザ、突発性正発疹)、神経疾患(熱性けいれん、てんかん)の病態と治療を学ぶ | 感染症(麻疹、風疹、水痘、インフルエンザ、突発性正発疹)、神経疾患(熱性けいれん、てんかん)の病態生理と治療 | 講義 | |
| 6 | 血液・悪性疾患の子どもの病態・検査・治療 | 血液・悪性疾患(白血病、紫斑病、血友病)の病態と治療を学ぶ | 血液・悪性疾患(白血病、紫斑病、血友病)の病態生理と治療 | 講義 | |
| 7 | 循環器疾患の子どもの病態・検査・治療 | 循環器疾患(心不全、先天性心疾患、川崎病)の病態と治療を学ぶ | 循環器疾患(心不全、先天性心疾患、川崎病)の病態生理と治療 | 講義 | |
| 8 | テスト | | | | |

| | | | |
|--------|---|----|----|
| 授業科目 | 疾病と治療Ⅶ（精神疾患） | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 後期 | 時間 | 15 |
| 科目設定理由 | 看護に必要な観察力・判断力を養うには、健康・疾病・障害に関する病態と診断や治療の理解が不可欠である。本科目では精神の疾患の理解を深め、疾患や障害をもってその人らしい生活を送れるための支援につなげる。 | | |
| 目的 | 精神疾患の病態や診断治療と障害について学び、観察力や判断力を養う | | |
| 目標 | 1. 精神疾患の病態と治療を理解する 2. その人らしい生活を送るための支援について考える | | |
| 評価方法 | 筆記試験 | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座専門分野>精神看護の基礎：医学書院 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|---|---|--|--|------|----|
| 1 | 精神症状論と状態像 | 1.「病いの経験」と医学モデルによる「疾患」という2つの側面から精神障害を理解する 2.さまざまな精神症状を理解する | 精神障害の症状 不安状態 思考内容と思路の障害 記憶障害 強迫思考・強迫行為 意識の変容 離脱症状 昏迷状態 精神運動興奮状態 知的機能の障害 | 講義 | |
| 2 | 精神障害の診断と分類 | 1.精神障害の診断と分類について理解する 2.心理的特性をはかる検査、医学的検査について理解する。 3.知的障害・精神遅滞の概念と分類を理解する | 精神障害の診断と分類 DSMとICDの分類 外因・内因・心因という分類 生物・心理社会モデル 医学的検査、心理検査 知的障害・精神遅滞 | 講義 | |
| 3 | 統合失調症の特徴と治療 | 1.統合失調症の特徴と治療について理解する。 2.抗精神病薬の有害反応の予防・対処法を学ぶ。 | 統合失調症 ・症状・成因・治療 ・発病と回復のプロセス ・抗精神病薬の有害反応 | 講義 | |
| 4 | 気分障害の特徴と治療 | 1.気分障害の特徴と治療について理解する 2.電気けいれん療法について理解する | 気分障害 ・症状・経過と予後 ・成因・治療・電気けいれん療法 | 講義 | |
| 5 | 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害、生体的障害および身体的要因に関連した行動症候群 | 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害、生体的障害および身体的要因に関連した行動症候群の特徴と治療について理解する | 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 恐怖症性不安障害 強迫性障害 重度ストレス反応および適応障害 解離性障害 生体的障害および身体的要因に関連した行動症候群 摂食障害 睡眠障害 パーソナリティ障害 | 講義 | |
| 6 | 器質性精神障害、精神作用物質による精神および行動の障害 | 器質性精神障害、精神作用物質による精神および行動の障害の特徴と治療について理解する | 器質性精神障害 認知症 症状精神病 精神作用物質による精神および行動の障害 | 講義 | |
| 7 | 心理的発達の障害、小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 | 心理的発達の障害、小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害の特徴と治療について理解する | 心理的発達の障害 特異的発達障害、 広汎性発達障害 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 多動性障害、 素行障害 | 講義 | |
| 8 | テスト | | | | |

| | | | |
|--------|--|----|----|
| 授業科目 | 生活療法Ⅰ（健康と栄養） | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 前期 | 時間 | 30 |
| 科目設定理由 | 生体が発育・成長し健全な生命活動を営むためには体外からの栄養素を取り入れることが必須である。それらはさまざまな働きによって生命を支えている。しかし、人々の習慣や価値観によって不足または過剰になり、生活や生命、医療費にも影響を及ぼす。生活習慣病は日本において大きな問題となっている。本科目では、栄養素の働きを学び、栄養状態のアセスメントやバランスよく栄養素を摂取できるよう食生活を支援するための基礎知識を学ぶ。 | | |
| 目的 | 対象の栄養状態や食生活をアセスメントし食事援助につなげるための基礎知識を学ぶ | | |
| 目標 | 1.栄養素の働きと吸収・代謝を理解する 2.栄養ケア・マネジメントを理解する 3.栄養状態の評価・判定を理解する 4.ライフステージにおける栄養を理解する 5.臨床栄養を理解する 6.自身の食生活への関心を高める | | |
| 評価方法 | 筆記試験 | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座専門基礎分野> 栄養学：医学書院 <系統看護学講座別巻> 栄養食事療法：医学書院 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|----|-------------|-------------------|----------------------------------|------|----|
| 1 | 食べ物と栄養素 | 食べ物と栄養素について学ぶ | 食品 食品の成分と栄養価 | 講義 | |
| 2 | からだの仕組み | からだの仕組みについて学ぶ | からだと栄養素 | 講義 | |
| 3 | 消化吸収と栄養素の働き | 消化吸収と栄養素の働きについて学ぶ | 栄養素の種類 | 講義 | |
| 4 | ライフステージと栄養 | ライフステージと栄養について学ぶ | 乳幼児期、学童期・思春期・青年期、成人期、老年期の栄養 | 講義 | |
| 5 | エネルギー代謝 | エネルギー代謝について学ぶ | エネルギーの獲得 生理的燃焼価 エネルギー消費、収支 | 講義 | |
| 6 | 食事摂取基準 | 食事摂取基準を学ぶ | エネルギーおよび栄養素の食事摂取基準 | 講義 | |
| 7 | 健康の維持と栄養 | 健康の維持と栄養について学ぶ | 国民健康・栄養調査食生活の変遷と疾病の変遷 | 講義 | |
| 8 | 栄養アセスメント | 栄養アセスメントを考える | 栄養アセスメントとは 全身アセスメント | 講義 | |
| 9 | 栄養素補給方法 | 栄養素補給方法を学ぶ | 治療食の基準 検査食 栄養素補給方法 | 講義 | |
| 10 | 食事指導 | 疾病と個別対応について学ぶ | 疾病と栄養管理 | 講義 | |
| 11 | 食事指導 | 栄養サポートを学ぶ | 医療に必要な栄養サポート からだづくりに必要な栄養サポート | 講義 | |
| 12 | 腎臓病食 | 腎臓病食を調理する | 腎臓病食をつくる | 演習 | |
| 13 | 介護食 | 介護食を調理する | 介護食をつくる | 演習 | |
| 14 | 糖尿病食 | 糖尿病食を調理する | 糖尿病食をつくる | 演習 | |
| 15 | テスト | | | | |

| | | | |
|--------|--|----|----|
| 授業科目 | 社会福祉概論 | 学年 | 2 |
| | | 単位 | 1 |
| 時期 | 前期 | 時間 | 30 |
| 科目設定理由 | 人は生涯の中で個人では対応しきれない困難に直面する。そのため、国民の最低生活を保障する社会保障制度や、障害や要介護状態など社会的な援護を受けることで自立した生活を行えるよう支援する福祉制度は、人間にとって必要不可欠な制度である。また、現在は困難な状況になる前の予防や対策へと制度も拡大・深化している。看護師は看護だけでは解決できない困難を福祉の専門家と協働し解決していく。そのためにはそれらの知識が必要であり、人間の健康に関わる看護師にとって今後ますます重要となってくることが予測される。 | | |
| 目的 | 対象の生活を支援するための社会保障や社会福祉制度を学ぶ | | |
| 目標 | 1.社会保障制度と社会福祉制度の概念を理解する 2.社会保障と社会福祉の法制度を理解する 3.現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向を理解する 4.医療・介護・所得保障と公的扶助を理解する 5.社会福祉サービスと実践を理解する 6.他職種と連携し協働していく姿勢を養う | | |
| 評価方法 | 筆記試験 | | |
| 使用テキスト | <系統看護学講座専門基礎分野> 社会保障・社会福祉：医学書院 | | |
| 参考図書 | | | |

| | 主題・単元 | 授業のねらい | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|----|----------------|--------------------------------|---|------|----|
| 1 | 生活と福祉 | 生活と福祉に社会保障の概念・歴史・制度体系について学ぶ | 第1章 生活と福祉 | 講義 | |
| 2 | 社会保障 | 社会保障の概念・歴史・制度体系を学ぶ | 第2章 社会保障の概念・歴史・制度体系 | 講義 | |
| 3 | 社会保険制度① | 社会保険の役割と制度の分類・医療保険制度を学ぶ | 第3章 わが国の社会保険制度 ①社会保険の役割と制度の分類・医療保険制度 | 講義 | |
| 4 | 社会保険制度② | 高齢者医療制度・保健医療制度・医療提供体制と国民医療費を学ぶ | ②高齢者医療制度・保健医療制度・医療提供体制と国民医療費 | 講義 | |
| 5 | 社会保険制度③ | 介護保険制度について学ぶ | ③介護保険制度 | 講義 | |
| 6 | 社会保険制度④ | 年金保険制度・労働保険制度について学ぶ | ④年金保険制度・労働保険制度 | 講義 | |
| 7 | 社会福祉① | 慈善事業から福祉国家まで・わが国の社会福祉の歴史を学ぶ | 第4章 社会福祉の歴史と援助技術 ①慈善事業から福祉国家まで・わが国の社会福祉の歴史 | 講義 | |
| 8 | 社会福祉② | 社会福祉援助技術について学ぶ | ②社会福祉援助技術 | 講義 | |
| 9 | 社会福祉③ | 生活保護法と施策について学ぶ | 第5章 社会福祉の諸制度と施策 ①生活保護法と施策 | 講義 | |
| 10 | 社会福祉④ | 児童福祉と施策・障害者の福祉施策について学ぶ | ②児童福祉と施策・身体障害児の福祉施策 | 講義 | |
| 11 | 社会福祉⑤ | 障害者の福祉施策について学ぶ | ③障害者の福祉施策 | 講義 | |
| 12 | 社会福祉⑥ | 高齢者の福祉施策について学ぶ | ④高齢者の福祉施策 | 講義 | |
| 13 | 社会福祉行政 | 社会福祉行政のしくみについて学ぶ | 第6章 社会福祉行政のしくみ | 講義 | |
| 14 | 社会保障 社会福祉行政 | 社会保障・社会福祉行政改革について学ぶ | 第7章 社会保障・社会福祉行政改革 | 講義 | |
| 15 | テスト | | | | |